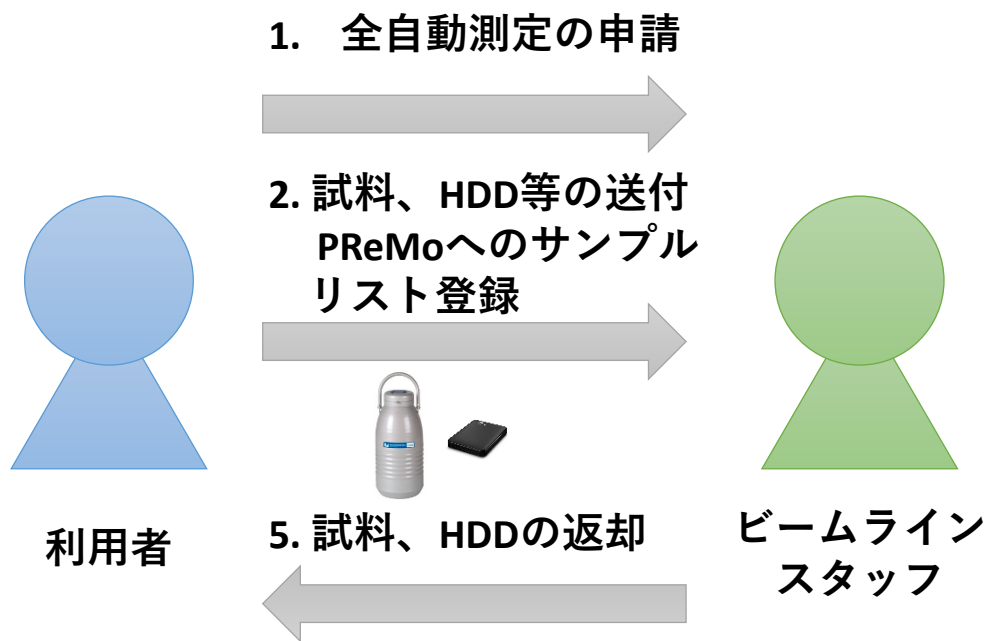


一般ビームタイムでの 全自動測定サービス

全自動測定サービス

全自動測定サービスは利用者から送られてきた試料を、ビームラインスタッフが受け取りと保管、測定装置へのセットを行い、全自動測定システムを用いて回折データを収集するサービスです。



3. 試料の測定装置へのセット
4. 全自動測定

全自動測定サービスの拡大

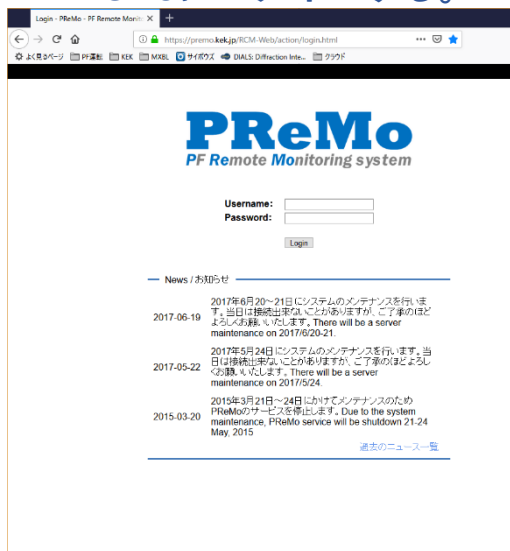
2020年度より、一般の学術利用ビームタイムも全自動測定サービスの対象となります。

	2020年3月まで	2020年4月以降
一般ビームタイム	×	○
全自動ビームタイム	○	○
BINDSビームタイム	○	○
企業利用ビームタイム	△	△

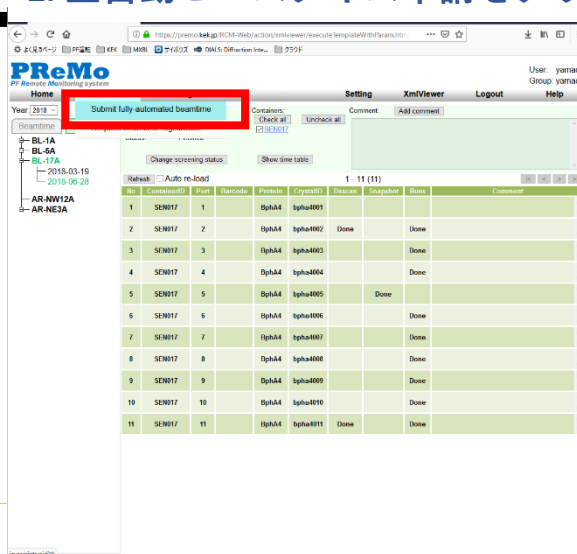
全自動測定サービスの利用方法

一般ビームタイム BINDSビームタイム	ビームタイム配分決定後、ビームタイムの1週間前までに、PReMoから全自動測定サービスを申請
全自動ビームタイム	定期的に確保された全自動ビームタイムに対して通常4営業日前までに、PReMoから全自動測定サービスを申請

1. PReMoにログインする。



2. 全自動ビームタイム申請をクリックする



3. 申請フォームに記入する



画面は2020年3月現在のもので今後変更されます。

一般ビームタイムでの全自動測定サービス

- 次ページの全自動測定にかかる時間を参考に、配分されたビームタイムに収まるよう、試料数や測定条件を調整してください。
- ビームラインの空き状況やBLスタッフの作業都合などにより、全自動測定の開始がビームタイム開始時刻と一致しないことがあります。
- センタリングミスした結晶の手動による再測定は原則行いません。
- 測定装置に関するトラブルにより、ビームタイム内に測定出来なかった試料については、空きビームタイムなどを利用してなるべく早く測定します。

全自動測定に要する時間の計算

測定準備

30分

1試料の測定

センタリング時間 + 測定時間

ビーム ライン	センタリング 時間(分)
BL-1A	6
BL-5A	3
BL-17A	6
AR-NW12A	3
AR-NE3A	3

(例)

BL-17Aにおいて振動角0.5度、露光時間0.2秒、測定範囲180度の測定を60個(Unipuck4個分)の試料で行う場合

$$30 + (6 + 0.2 \times 360 / 60) \times 60 = 462 \text{ 分} = 7.7 \text{ 時間}$$

試料・サンプルリストファイルの準備

1. Unipuckは「www.crystalpositioningsystems.com」の刻印があるものを使用してください。また、Unipuckの側面にラベル等が貼られている場合には剥がしてください。
2. Unipuckの16番ポートにUnipuck識別用のバーコードピン(*)を入れる。



3. 試料を凍結し、Unipuckに装填する。
4. サンプルリストファイルを作成する。
(Unipuck ID, Port, 測定条件)

(*) バーコードピンが必要な方には提供します。

PReMoへのサンプルリスト登録

PRemo - PF Remote Monitoring

保護された通信 <https://premo.kek.jp/RCM-Web/action/xmlviewer/executeTemplateWithParam.html#popupBody>

PRemo
PF Remote Monitoring system

User: testuser
Group: testuser

Home Screening Setting XmlViewer Logout Help

Year: 2017

Beamtime

BL-1A
2017-01-1
2017-03-1
2017-04-1
2017-05-1

BL-5A
2017-01-1
2017-02-1
2017-03-1
2017-04-1
2017-04-1

BL-17A
2017-04-1

AR-NW12A
2017-04-1
2017-05-1

AR-NE3A
2017-04-1

Create a screening task

The Cassette List File (.csv) ファイルを選択してください

The Sample List File (.csv) ファイルを選択してください

Options

Read barcode for every sample on exchange

Input comment

Automatic data processing

Snapshot none

Data collection none

Input below when you do not have a cassette list file

Select Barcode Position

Stanford L 8 Unipuck 16

Input Barcode and Cassette IDs

	Barcode ID	Cassette ID	Barcode ID
1	C0304AD634	KEKPF-0011	2
3			4
5			6
7			8
9			10
11			12

Apply Cancel

02:04:59	Snapshot	1.0000	230.0	1.0	0.5	1.4	2017-05-12_AR-NW12A/PF-0125/13/snap
02:04:53	Snapshot	1.0000	140.0	1.0	0.5	1.4	2017-05-12_AR-NW12A/PF-0125/13/snap



試料の送付

1. 試料を送付する際にはハードケースには以下のものを入れてください。

- 試料の入ったドライシッパー
- **返信用の着払い伝票** (入れ忘れが多いので注意してください。)
- バックアップ用外付けHDD (Unipuck数 ≥ 3 の場合)
- 試料・化学薬品等持ち込み・使用届け (一般、BINDSビームタイムの場合)

2. 試料を送付した旨を以下に従って連絡ください。

<https://www2.kek.jp/imss/pf/apparatus/utility/#parcel>

- メール連絡先にpxblshipping@ml.post.kek.jpを加える
- 発送時の受け取り人を「田中牧子」とする。

3. ビームタイムに間に合うよう発送してください。

PFに荷物が到着する日

	Aシフト	Bシフト	Cシフト
月曜日	前週金曜日まで		当日まで
火～金曜日	前日まで		当日まで
土・日曜日		金曜日まで	
祝日		前平日まで	

試料の返却

自動測定終了後、翌平日に試料やHDD等を返送します。

- PFへの送付時に必ず返信先が記入された返送用の着払い伝票を同封してください。
- 化学安全の観点から、測定した試料は凍結状態のまま返送します。
- PFの貸出しキットを使用している場合でも、一旦返送しますので、乾燥後返却をお願いします。
- 短期間(1週間程度)であればPFに保管することも可能です。その場合には、全自動測定サービス申請時にその旨を記入した下さい。